

年 月 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する造影超音波内視鏡検査の有用性に関する多機関共同後方視的観察研究」への協力のお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年1月1日～2023年5月31日の間に、当科において、膵管内乳頭粘液性腫瘍に対して造影超音波内視鏡検査を施行された方。

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2025年 12月 31日

研究目的・利用方法：

膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) は膵癌の前癌病変であり、悪性化した場合は通常の膵癌と同様に予後不良となる可能性があります。IPMN の国際ガイドラインで悪性化のリスクのひとつとされている壁在結節の有無については、computed tomography (CT) や magnetic resonance cholangio pancreatography (MRCP) といった他の画像検査よりも超音波内視鏡 (EUS) が診断能が高いとされています。しかし、通常の EUS では壁在結節と粘液栓の鑑別が困難なことがあります。造影 EUS を用いれば、壁在結節は造影効果を持つため、粘液栓の鑑別が容易となり、良悪性の診断および、治療方針決定に寄与する可能性があります。本研究では IPMN 診療における造影 EUS の有用性についての検討を行います。

研究に用いる情報の種類：

IPMN 部位、多発か単発か、多房性か単房性か、分枝型か主膵管型か混合型か、嚢胞径、主膵管径、結節径、CT 所見、MRI 所見、ERCP 所見、経過観察による所見の変化、外科的切除の有無、切除検体の病理、最終転帰、結節の造影効果

研究に用いる情報の利用又は提供を開始する予定日：

2023年10月1日

外部への情報の提供：

当院から外部への提供はありません。他機関からデータを記録した USB メモリを手渡して提供をうけます。

研究組織：

機関名：岐阜大学医学部附属病院 研究責任者：岩下 拓司 職名：第一内科 講師
機関名：岐阜県総合医療センター 研究責任者：丸田 明範 職名：消化器内科 医長
機関名：中濃厚生病院 研究責任者：三田 直樹 職名：消化器内科 医長

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜県総合医療センター 理事長兼院長 桑原 尚志
中濃厚生病院 病院長 勝村 直樹

連絡先

岐阜大学医学部附属病院第1内科
電話番号：058-230-6308
氏名：岩下 拓司

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院第1内科
氏名：岩下 拓司

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院第1内科
氏名：岩下 拓司

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp